

遡及的自我同一性地位面接の妥当性を検討する試み —尺度得点と協力者の社会適応状態からの検討—

眞鍋一水 (京都教育大学大学院)

I. 問題と目的

Erikson (1950) のアイデンティティを捉える方法に, Marcia (1966) による自我同一性地位面接が挙げられる事ができる。これは職業選択や価値観について, 危機と傾倒を経ているかを確認し, 4つの自我同一性地位 (Status) (同一性達成, モラトリアム, フォークロージャー, 同一性拡散) に類型化するものである。その後の追跡調査 (Marica, 1977) で, 自我同一性地位は変化する事が明らかになった。その変化は信頼性の低さではなく, 自我同一性の発達として解釈されている (岡本, 1997)。眞鍋 (2013, 2014) は, 自我同一性地位は一時の状態を捉えるものだが, より人格的な特性を捉える為に過去と現在の自我同一性地位の変化の経路を求める遡及的な方法 (REISI) を考案した。再検査法を用いた信頼性の検討の結果, 現状がモラトリアムの場合は過去の語りも不安定になり信頼性に検討の余地が生まれるが, それ以外の場合は信頼性に問題は無い事が示唆された。本研究では, 質問紙の得点と協力者の社会適応状態の報告から妥当性を検討する事を目的とする。

II. 方法

調査: 遡及的自我同一性地位面接 (眞鍋, 2013) を実施した。time1は2012年8月から11月, time 2は2013年10月, time3は2015年2月に行われ

た。質問紙: 中西・佐方 (1993) のEPSIを用いた。協力者: 3名の男女であった。女性2名は大学院生, 男性1名は会社員であった。倫理的配慮: プライバシーを確保し, 面接への同意を署名で得た。結果の整理: 面接は逐語化し, 協同評定者と別に自我同一性地位を評定した。

III. 結果

自我同一性地位の評定者間一致率は80%であった。一致しなかったEISは協議し, それでも一致しない場合は筆者の評定を採用した。各協力者のEISの移行をTable.1に示す。尺度得点を卒後2年 (現在) の行に記した。

IV. 考察

移行経路が流動的であるほど尺度得点は高かった。またCさんは過去に職場での過労から入院されたが, その事を「気づいたら病院のベッドで寝てた」, 「(生活を) 見直すきっかけになった」と振り返っておられた。また, Aさんは過去に心理士になるかどうか悩んだ事を「できるかなあ, という不安は常にある」「勉強すればなんとかかなると思う」と振り返っておられた。どちらも丁度time2の調査時期であり, time2時の移行経路との関係からも一定の妥当性が示された。以上の結果からREISIの妥当性が示唆されたと考えられる。今後はより多くの協力者の尺度得点との統計的検定が必要だと考えられる。

Table.1 EISの移行と選択の変化

協力者	領域	時期	時期ごとの職業選択 (価値観 (自我同一性地位))							
			中学:3	高校:1	高校:2	高校:3	大学:1	大学:2	大学:3	大学:4
Aさん	職業選択	time1	心理士 (A: 対人関係)				心理士 (M: 道徳選択)		間 (A: 覚悟ついた)	
		time2	特になかった				心理士 (M: 道徳選択)		心理士 (A: 道徳選択, 大学院入試)	
		time3	人の役に立つ (A: 対人関係)				心理士 (M: 道徳選択)		心理士 (A: 道徳選択, 大学院入試)	
	価値観	time1	考えて口に出すこと (F: 友人に言われて)				人のために何かをする (M: 友人関係等)		感情に素直に (M: 対人関係)	
		time2	特になかった				感情に素直に (M: 対人関係)		やりたい事をする (A: 対人関係)	
		time3	特になかった				感情に素直に (M: 対人関係)		やりたい事をする (A: 対人関係)	
Bさん	職業選択	time1	獣医 (F: ドラマ)		英語に携わる (F: 道徳選択)		心理士 (F: 道徳選択)		心理士 (A: 近親者の死去)	
		time2	獣医 (F: ドラマ)		英語に携わる (F: 道徳選択)		F (心理士: 道徳選択+友人)		心理士 (A: 近親者の死去)	
		time3	英語に携わる (F: 道徳選択)		F (心理士: 道徳選択+友人)		心理士 (A: 近親者の死去)		心理士 (A: 近親者の死去)	
	価値観	time1	諦めない (F: 以前から)		大切な人を大切に (M: いじめの体験と友人の言葉)		笑顔と人を大切に (A: ボランティアの経験)		笑顔と人を大切に (A: ボランティアの経験)	
		time2	諦めない (F: 以前から)		がんばること (F: 以前から+しんどさ)		笑顔と人を大切に (A: ボランティアの経験)		笑顔と人を大切に (A: ボランティアの経験)	
		time3	努力すること (F: 負けたくない思い)		笑顔と人を大切に (A: ボランティアの経験)		笑顔と人を大切に (A: ボランティアの経験)		笑顔と人を大切に (A: ボランティアの経験)	
Cさん	職業選択	time1	特になかった		院進学 (D: なんとなく)		就職・接客業 (F: 就活)		EPSI (identity)=4.4	
		time2	調理師 (F: 家族から)		ゆとりをもって働く (D: なんとなく)		ゆとりも稼ごも (F: 就活)		EPSI (全体)=3.6	
		time3	調理師 (F: 家族から)		心理 (F: 人への興味)		不勤度 (F: 就活)		EPSI (全体)=3.6	
	価値観	time1	ふわふわ行きたい (D: -)		時期詳しく覚えてない・今を楽しむ (F: 本を読んで)		めぐり巡る (F: ボランティアの経験)		休みを大切に (A: 不適応体験)	
		time2	まだ曖昧だった (D: -)		めぐり巡る (F: ボランティアの経験)		めぐり巡る (F: ボランティアの経験)		休みを大切に (A: 不適応体験)	
		time3	自分の時間を大切に (F: 本との出会い)		自分の時間を大切に (F: 本との出会い)		自分の時間を大切に (F: 本との出会い)		休みを大切に (A: 不適応体験)	

* A: Identity achievement, M: Moratorium, F: Foreclosure, D: Identity diffusion.